

第 60 期  
中間報告書

2024年1月1日から2024年6月30日まで

高橋カーテンウォール工業株式会社

## 株主の皆様へ

第60期上期（2024年1月1日から2024年6月30日まで）の営業の概況と決算をご報告するに当たり、ご挨拶申し上げます。

皆様、平素、当社のサポーターでいてくださり、有難うございます。

当建設業界におきましては、受注時採算の低いところに資材高、人手不足によるコストアップが重なり、収益が低下傾向にあります。当社PCカーテンウォール事業部門は厳しい環境下、大型物件の着工もあり前中間連結会計期間比売上を伸ばしつつ、オペレーションの効率化や精算時の交渉を丁寧にして、収益の改善に努めています。

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校やスポーツクラブに加え、老朽化したプール施設のリニューアル工事等の拡大を図っております。インバウンド復活でホテルのプールが増加傾向にあること、大きなシェアを持っていたFRPプールメーカーが撤退したことから、受注量が増えてきています。

この結果、当社の当期上期業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ当初計画を上回りました。

こうした当期上期の業績並びに今後の事業展開等を勘案し、当期の中間配当金につきましては、1株につき10円とさせていただきますので、ご了承のほど、お願い申し上げます。

引き続き厳しい経済環境が続くことが予想されますが、新たな開発や需要喚起により業界を発展させ、皆様に安定した配当を続けられる会社にして行く所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き、当社を応援していただけるようお願い申し上げます。

2024年9月

代表取締役社長 高橋 武治

## 営業の概況（連結）

当中間連結会計期間における日本経済は、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・ハマス戦争の長期化の影響や円安継続により、インフレが続いており、そこに建設業、運輸業の働き方改革による労働力不足が深刻度を急速に深めるため、すべてにわたりコスト上昇が見込まれ、相当なインフレが起こることが予想されます。

このような状況の下、当社は売上高を伸ばしつつ、オペレーションの効率化や精算時の交渉を丁寧に行った結果、当中間連結会計期間における当社企業グループの業績は、売上高47億89百万円（前中間連結会計期間比26.9%増）、営業利益3億37百万円（前中間連結会計期間比42.9%増）、経常利益3億85百万円（前中間連結会計期間比34.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益2億42百万円（前中間連結会計期間比43.8%増）となりました。

なお、受注高は39億61百万円（前中間連結会計期間比8.5%減）であり、受注残高81億36百万円（前中間連結会計期間比9.2%減）となりました。

---

今後の日本の経済は、自動車生産が持ち直すことに加え、高水準の企業収益が賃金・設備投資に回ることによって内需が回復することが押し上げ要因になり、プラス成長に転じることが予想されます。前年を大幅に上回る春闘賃上げを受けて実質賃金が改善に向かうほか、所得税減税による一時的な押し上げ等を受けて、個人消費は伸びをやや高めることが見込まれます。しかしながら、夏場にかけて電気代の値上げ等に伴いインフレ率が上昇する可能性が高く、物価高が回復の阻害要因になると思われず。また、2024年は大幅な円高進展が見込みにくく、ロシア・ウクライナ情勢と中東情勢の緊迫で原油価格が高止まりする状況が続けば、消費者物価上昇率は下げ渋ることも考えられ、景気は依然として先行き不透明な状況

にあります。

建設業界では、インバウンド需要を中心に、ホテルなどの建設が復調し、IR等の大型プロジェクトが本格化します。また、資材の値上がり、人件費の高騰で建築コストの急上昇が起きており、プロジェクトを練り直したり、取りやめたりするケースが増加しています。働き方改革の本格適用に伴い、工事消化力が減少することが予想されます。マンパワーを補うために経験の浅い人材が工事現場で増え、熟練度の低下、不安全行動の増加などが懸念されます。

高層ビル外装においてはガラスやアルミカーテンウォール優勢の傾向が続いていますが、ガラスやアルミの高騰に直面してポツ窓形式のPCカーテンウォールにしたらコストが下がるのではないかと、という見積もりがみられるようになりました。

本年度下期は、工場は一定以上の稼働率を確保しており、来年前半には相当な仕事量が見込まれています。原価が高騰するなか、適切に見積もりをして、インフレ時の利益率低下を防ぎたいと考えています。

マイナス要因は多々ありますが、強固な財務基盤のある当社は、若手をしっかり確保して育成し、より多様な表現、多様な組成のコンクリートの表現をお客様に提供し、デザインや環境で革新を起こし、より多くのファンを作れるよう、努力を重ねて行く所存です。

こうした地に足のついた努力と市況の回復が重なることで収益が大きく改善され、「全従業員の物心両面の幸福を追求し、社会の進歩・発展に貢献する」という理念を追求し続けられると考えています。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 中間連結貸借対照表 (2024年6月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	8,034,550	流 動 負 債	2,137,701
現 金 預 金	895,163	支 払 手 形 ・ 工 事 未 払 金 等	724,752
受 取 手 形 ・ 完 成 工 事 未 収 入 金 等	6,123,354	電 子 記 録 債 務	459,410
電 子 記 録 債 権	585,151	短 期 借 入 金	529,000
未 成 工 事 支 出 金	235,070	未 払 法 人 税 等	118,935
そ の 他 の 棚 卸 資 産	114,339	未 成 工 事 受 入 金	12,054
そ の 他	81,471	賞 与 引 当 金	50,554
固 定 資 産	5,267,748	そ の 他 の 引 当 金	17,951
有 形 固 定 資 産	2,976,356	そ の 他	225,043
建 物 ・ 構 築 物 ( 純 額 )	527,809	固 定 負 債	386,035
土 地	1,757,455	長 期 借 入 金	120,000
そ の 他 ( 純 額 )	691,091	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	161,375
無 形 固 定 資 産	77,622	そ の 他	104,659
投 資 そ の 他 の 資 産	2,213,770	負 債 合 計	2,523,736
投 資 有 価 証 券	221,237	純 資 産 の 部	
保 険 積 立 金	1,112,947	株 主 資 本	10,744,264
投 資 不 動 産 ( 純 額 )	27,569	資 本 金	100,000
退 職 給 付 に 係 る 資 産	171,239	資 本 剰 余 金	3,283,363
そ の 他	686,623	利 益 剰 余 金	7,921,699
貸 倒 引 当 金	△ 5,847	自 己 株 式	△ 560,798
資 産 合 計	13,302,299	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	34,298
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	34,298
		純 資 産 合 計	10,778,563
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	13,302,299

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書 (2024年1月1日から2024年6月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	4,789,584
売上原価	4,009,515
売上総利益	780,068
販売費及び一般管理費	442,427
営業利益	337,640
営業外収益	52,546
営業外費用	5,180
経常利益	385,006
特別損失	7,898
税金等調整前中間純利益	377,108
法人税、住民税及び事業税	120,351
法人税等調整額	14,538
法人税等合計	134,889
中間純利益	242,218
親会社株主に帰属する中間純利益	242,218

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (2024年1月1日から2024年6月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,500,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 45,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 204,252
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,750,583
現金及び現金同等物の期首残高	2,645,746
現金及び現金同等物の中間期末残高	895,163

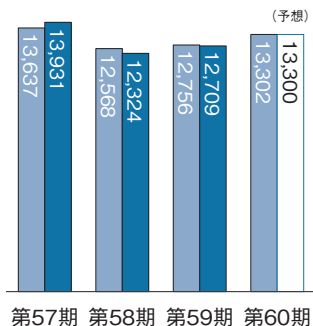
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結業績の推移

■ 中間 ■ 通期

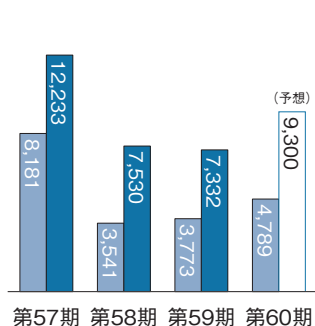
### 総資産

(単位：百万円)



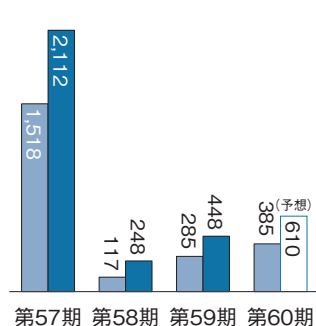
### 売上高

(単位：百万円)



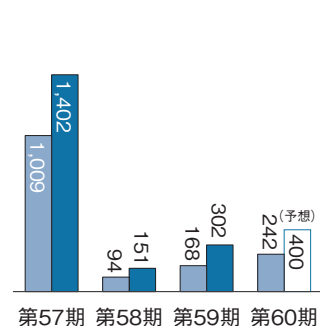
### 経常利益

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位：百万円)



## 株式の状況 (2024年6月30日現在)

(1) 発行可能株式総数	36,500,000株
(2) 発行済株式の総数	9,553,011株
(3) 株主数	2,865名
(4) 大株主(上位10名)	

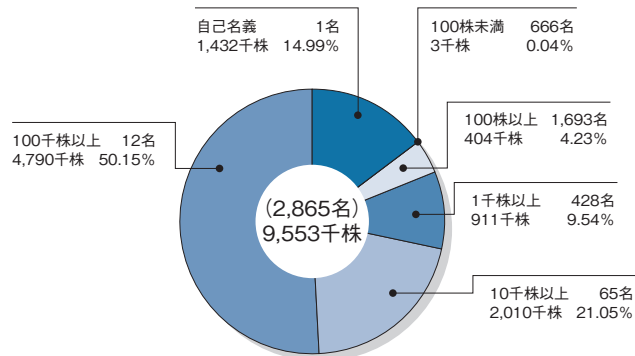
株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	株	%
高橋 武治	1,525,873	18.8
高橋 敏男	898,312	11.1
岩崎 陽子	473,319	5.8
高橋 宗敏	461,702	5.7
高橋 亜紀子	420,641	5.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	192,100	2.4
高橋 雅代	187,259	2.3
ビーエヌワイエム ビーエヌワイエムエルピー ジービーピークライアントマネージメントアンドアセットエーシー	163,700	2.0
昭和化学工業株式会社	134,000	1.7
インタラクティブブローカーズエルエルシー	129,000	1.6

(注) 持株比率は自己株式(1,432,464株)を控除して計算しております。

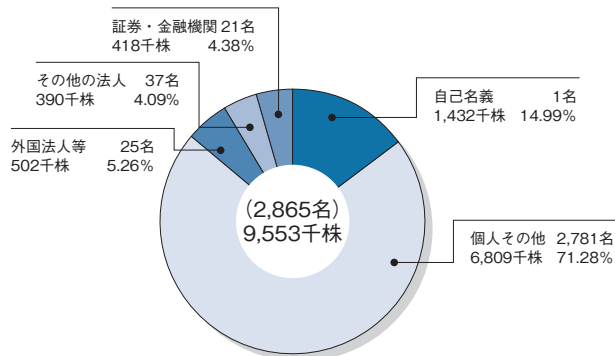
### (5) 自己株式の処分及び保有

1. 取得株式	
普通株式	154,600株
取得価額の総額	90,233千円
2. 処分した株式	
普通株式	一株
3. 決算期末における保有株式	
普通株式	1,432,464株

## 所有数別状況



## 所有者別状況



## 会社の概況 (2024年6月30日現在)

商号	高橋カーテンウォール工業株式会社 (TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION)
本店の所在地	東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
創業年月日	1951年(昭和26年)5月1日
設立年月日	1965年(昭和40年)1月8日
資本金	1億円
建設業許可	国土交通大臣許可(特-3)第15327号 国土交通大臣許可(般-3)第15327号
建築士事務所登録	一級 東京都知事登録 第62129号
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● プレキャストコンクリートカーテンウォールの設計・製造・施工</li><li>● 建築用プレキャストコンクリート部材「N(T)認定」の設計・製造・施工</li><li>● 水施設、水空間、水環境の企画・提案・設計・施工</li></ul>

## 取締役及び監査役 (2024年6月30日現在)

代表取締役社長	高橋武治
取締役	高橋宗敏
取締役	小出  斉
常勤監査役	中西博之
監査役	中川康生
監査役	吉見芳彦


## 事業所

本社	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号 電話 東京 (03) 3271-1711 (代表)
大阪支店	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号 電話 大阪 (06) 6441-3211 (代表)
結城工場	〒307-0036 茨城県結城市北南茂呂1961番地 電話 結城 (0296) 35-0600 (代表)
つくば工場	〒300-3551 茨城県結城郡八千代町栗山711番地 電話 下館 (0296) 48-0500 (代表)
下館工場	〒308-0867 茨城県筑西市西山田223番地1 電話 下館 (0296) 54-6244 (代表)
滋賀工場	〒529-1831 滋賀県甲賀市信楽町西349番地1 電話 甲賀 (0748) 82-0600 (代表)

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領	期末配当 12月31日
株主確定日	中間配当 6月30日
基準日	定時株主総会の議決権 12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	当社のホームページ ( <a href="https://www.t-cw.co.jp/">https://www.t-cw.co.jp/</a> ) に掲載します。 但し、電子公告によることが出来ない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

## 株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法 の変更及びマイナンバーの お届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係 書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお 問い合わせ	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		
株式等に関するマイナンバーの お届出のお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。</li> <li>・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。</li> </ul>	